

テーマ3 2025年度内に対応すべき重要テーマ

1

プログラミング的思考の導入

情報 I ・ 共通テストへの対応

サポート終了への備え

Windows10 / Office の移行

対応できた人も、できなかった人も、

振り返るべき内容です

【スライド1】

2025年に対応すべき重要テーマ
プログラミング思考／サポート終了

2

****2025年度内に対応すべきだった重要テーマ****
～プログラミング思考／サポート終了～

2025年は教育とITインフラの両面で大きな転換期でした。
対応できた方も、これからの方も、
今一度振り返り、今後の計画を立てましょう。

【スライド2】 2025年の大きな変化

- * 大学入学共通テスト「情報Ⅰ」
- * Windows10 サポート終了
- * Office 2016/2019 サービス終了

3

****押さえておくべき3つの変化****

*** **大学入学共通テスト「情報Ⅰ」 ****

- 2025年1月から本格実施
- 全受験生が対象（文系・理系問わず）
- プログラミング、データ分析、情報セキュリティが出題範

*** **Windows10 サポート終了****

- 2025年10月14日で終了
- セキュリティ更新プログラムの提供停止
- 継続利用はリスクが高い

*** **Office 2016/2019 サービス終了****

- Office 2016: すでにサポート終了
- Office 2019: 2025年10月14日で終了
- Microsoft 365への移行が推奨

****なぜ今、振り返るべきか****

対応済みの方は運用状況の確認を、

【スライド3】 プログラミング的思考とは

- * 問題を分解する力
- * 手順を論理的に並べる力
- * 再利用・パターン化の力

4

****情報 I で求められる力****

*** **問題を分解する力** ***

- 大きな問題を小さな部分に分ける
- 例：「イベント運営」→「企画」「告知」「当日準備」
- 各部分を個別に考えることで解決しやすくなる

*** **手順を論理的に並べる力** ***

- アルゴリズム思考
- 効率的な順序を考える
- フローチャートで可視化
- 例：「朝の準備」の最適な順序を考える

*** **再利用・パターン化の力** ***

- 共通部分を見つける
- 一度作ったものを応用
- 効率化とミス削減
- 例：イベント運営の「テンプレート」を作る

****日常生活との関係****

【スライド4】 授業・活動での導入例

- * Scratch
- * アンプラグド
- * ロジックカード
- * Python 基礎（簡単な例示）

5

****具体的な実践方法****

*** **Scratch** ***

- ビジュアルプログラミング言語
- ブロックを組み合わせて動作を作る
- 小学生から始められる
- ゲーム、アニメーション作成
- 無料、ブラウザで利用可能

*** **アンプラグド** ***

- コンピュータを使わない情報教育
- カードゲーム、パズルなど
- アルゴリズム、ネットワークの概念を体験
- 準備が簡単、低コスト

*** **ロジックカード** ***

- 論理的思考を鍛えるカード教材
- 条件分岐、繰り返しの理解

ゲーム、プロジェクトに昇進

【スライド5】 共通テストの特徴

- * データ処理・情報モラルが中心
- * コード量は少ない
- * アルゴリズム理解が重要

6

どんな問題が出るのか

* **データ処理・情報モラルが中心**

- データの読み取り、分析
- 個人情報保護、著作権
- 情報セキュリティ
- 実生活に関連した問題

* **コード量は少ない**

- 長いプログラムを書かせる問題は少ない
- 短いコードの読解が中心
- 穴埋め問題、動作予測問題

* **アルゴリズム理解が重要**

- 処理の流れを理解する
- フローチャートの読み取り
- 効率的な手順を考える

類似言語（DNL）を使用

【スライド6】 Windows10 サポート終了

- * 影響範囲
- * セキュリティ更新が停止
- * 2025/10/14 で終了

7

****放置できないセキュリティリスク****

*** **影響範囲** ***

- 個人、企業、団体すべてに影響
- 国内では約5,000万台が対象（推定）
- オフィス、工場、学校、病院など

*** **セキュリティ更新が停止** ***

- 新たな脆弱性が発見されても修正されない
- ウイルス感染のリスクが急増
- ランサムウェア攻撃の標的に
- 個人情報漏洩のリスク

*** **2025/10/14 で終了** ***

- すでにサポート終了済み
- 今すぐの対応が必要
- 延長サポート（有償）もあるが高額

****サポート終了後の対応****

【スライド7】 移行先の種類

- * Windows11
- * Microsoft 365
- * LibreOffice（無料代替）
- * ChromeOS など

8

****あなたに合った選択肢は？****

*** **Windows11** ***

- 最新のWindows OS
- セキュリティ強化
- 新機能（Android アプリ対応など）
- 要件：比較的新しいPC（2018年以降推奨）
- 費用：新規購入または無料アップグレード

*** **Microsoft 365** ***

- サブスクリプション型Office
- 常に最新版を利用可能
- クラウドストレージ付き（OneDrive 1TB）
- 複数デバイスで利用可能
- 費用：月額1,284円～（個人）、年額15,000円前後

*** **LibreOffice（無料代替）** ***

- 完全無料のオフィススイート
- Word、Excel、PowerPoint互換

【スライド8】 移行の考え方

- * 既存のPCの性能確認
- * ライセンスの再整理
- * 組織全体の更新計画

9

****計画的な移行が成功の鍵****

*** **既存のPCの性能確認** ***

- CPU、メモリ、ストレージをチェック
- Windows11の要件を満たすか
- 満たさない場合はPC買い替え
- 一部は延命、一部は新規購入など段階的に

*** **ライセンスの再整理** ***

- 何台分のライセンスが必要か
- ボリュームライセンスの検討
- 不要なソフトは整理
- 費用対効果の試算

*** **組織全体の更新計画** ***

- 全台一斉 vs 段階的移行
- 優先順位の設定（基幹業務から）
- テスト運用期間の確保
- ユーザー研修の計画
- バックアップ体制の確認

****移行スケジュール例****

【スライド9】 注意点

- * 古い周辺機器が使えない可能性
- * Office バージョン混在の問題
- * ネットワーク制限のチェック

10

****移行で失敗しないために****

*** **古い周辺機器が使えない可能性****

- プリンター、スキャナー
- 特殊な業務用機器
- ドライバーが対応していない場合
- 事前に互換性を確認
- 必要に応じて買い替え予算を確保

*** **Office バージョン混在の問題****

- ファイル形式の互換性
- マクロが動かない
- レイアウト崩れ
- 段階的移行の際は特に注意
- 標準形式を決める（.xlsx、.docx推奨）

*** **ネットワーク制限のチェック****

- 社内LANの設定変更が必要な場合
- VPNの互換性
- セキュリティソフトの更新
- ファイアウォール設定

【スライド10】 チェックリスト

- * Windows10 PC の台数把握
- * 対応期限を把握
- * 移行先（Win11/M365 等）を決定
- * 予算の見込み作成
- * プログラミング授業の準備
- * テスト範囲を理解している
- * 教材を確保した

【スライド11】 個別相談例

- * 授業の準備
- * 移行費用の試算
- * 機器の選定